

【意識調査の項目比較】

資料 2

50問				45問	26問	28問	
R元年度 調査項目				大阪府（H26）	国（R4）	東京都（R2）	参考
回答者の属性	a	性別	性別（4 択）	○（2 択）	○ （戸籍上の性を問う設問、2 択）	○（2 択）	クロス集計に使用
	b	年齢	年齢（12 択）	○	○	○	クロス集計に使用
	c	居住地域	居住地域（8 地域から選択）	○	×	×	調査概要に使用
	d	結婚	結婚（事実婚）の有無（3 択）	○	○ （事実婚は含まない）	○	クロス集計に関連
	e	職業	自身と配偶者の職業（7 択）	○	○ ※配偶者の職業については設問なし	○ ※配偶者の職業については設問なし	クロス集計に使用
	f	子どもの有無	子どもの有無（5 択）	○	○	○	問6に関連
	g	子どもの年齢	一番下の子の年齢（6 択）	○	×	○ ※すべての子どもについて年代を問うている。	問6に関連
	h	家族構成	家族構成（7 択）	○	×	○ ※同居家族の人数を問うている。	クロス集計に関連
	i	世帯収入	年間の世帯収入（5 択）	○	×	×	
	j	最終学歴	最終学歴または在学先（5 択）	○	×	○	
1 男女の地位の平等について	問1	男女平等の現状認識	家庭、職場、地域等で男女はどの程度平等になっていると思いますか。（8 項目、6 択）	○	○	○	プランの「現状と課題」「参考指標」に使用
	問2	女性の増加が望まれる職業・役職	次にあげる職業や役職において、今後女性が増えると良いと思うのはどれですか。（1 4 択、複数回答可）	○	×	○	

R元年度 調査項目				大阪府（H26）	国（R4）	東京都（R2）	参考
2 男女の役割分担について	問3	性別役割分担意識	「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。（4択）	○	○	×	プランの「現状と課題」「指標」に使用
	問3-1	「男は仕事、女は家庭」と思う理由	そう思う理由を教えてください。（6択、複数回答可）	○	○	※女性リーダーが増えた場合にどのような影響があると思いますか、リーダーを増やす障害は何だと思いますが、という設問あり。 ※男性が家事・育児を行うことについてどのようなイメージを持っているか、という設問あり。	
	問3-2	「男は仕事、女は家庭」と思わない理由	そう思わない理由を教えてください。（7択、複数回答可）	○	○	×	
3 家庭生活について	問4	結婚、離婚等に関する考え方	結婚、子どもの有無、離婚の自由、夫婦別姓についてどう思いますか。（4項目、5択）	○	×	×	
	問5	家庭内の役割分担	生活費をかせぐ、家事を行う、介護等について、主に男性、女性のどちらが担う方がよいと思いますか。（10項目、6択）	○	※育児・介護等について、配偶者とどのように分担したいかという設問あり	×	プランの「現状と課題」に使用
	問6	仕事、家事等に要する時間（平日・休日）	1日のうちで仕事、家事、育児、介護に要する平均時間はどのくらいですか。（7～9択）	○	×	×	
4 介護について	問7	家族を介護する場合の希望	家族が介護を要する状態となった場合、どのようにしたいとお考えですか。（5択）	○	×	×	
	問7-1	介護をする人	自宅介護の場合、主に誰が介護することになると思いますか。（7択）	○	×	×	
	問8	介護される場合の希望	自身が介護される状態になった場合、どのようにしてほしいと思いますか。（5択）	○	×	×	
	問8-1	介護してもらいたい相手	在宅介護の場合、主に誰に介護してもらいたいですか。（10択）	○	×	×	

R元年度 調査項目				大阪府（H26）	国（R4）	東京都（R2）	参考
5 職業生活について	問9	女性の働き方についての考え	女性の働き方について、どのようにお考えですか。（8択）	○	○ （5択）	○ ※そう考えた理由についても設問あり	プランの「現状と課題」に使用
	問9－1	実際の女性の働き方	自身、またはパートナーについて、結婚や育児と就業継続についてどのようにされるつもりですか。（8択）	○	×	×	
	問10	家事等を難しくする理由	今以上に家事、育児、介護等をするこを、難しくしている理由は何ですか。（男性への質問）（12択、複数回答可）	×	×	×	プランの「現状と課題」に使用
	問11	職場において男女格差を感じるこ	募集・採用、賃金、仕事の内容、昇進、管理職、能力評価等について、性別によって差があると思いますか。（9項目、4択）	○	×	×	プランの「現状と課題」に使用
	問12	今後の就労意向	（64歳以下の無職等の方対象）今後働きたいとお考えですか。（4択）	○	×	×	
	問12－1	働けない理由	今後働きたいけれども、現在働くことができない理由は何ですか。（13択、複数回答可）	○	×	×	
	問12－2	働きたくない理由	今後働きたくない理由は何ですか。（8択、複数回答可）	○	×	×	
	問13	女性が働き続けるために必要なこと	女性が仕事を辞めず働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（7択、複数回答可）	○	×	×	プランの「現状と課題」に使用
	問14	女性が再就職しやすくなるために必要なこと	女性が再就職しやすくなるためには、何が必要だと思いますか。（9択、複数回答可）	○	×	×	
	問15	仕事・職場における男女共同参画の進展	以前に比べて、女性が活躍しやすくなっている、男女とも働きつづけやすいまちになっていると思いますか。（2項目、5択）	○	×	×	プランの「指標」に使用
	問16	理系進学	自分の娘や身近な女性が理系進学をめざすことには抵抗がありますか。（5択）	○	×	×	

R元年度 調査項目				大阪府（H26）	国（R4）	東京都（R2）	参考
6 「仕事」「家庭や地域活動」「個人生活」のかかり方について	問17(1)	生活の中で優先すること（希望）	仕事、家庭や地域活動、個人の生活で何を優先しますか。（9択）	○	×	○	
	問17(2)	生活の中で優先すること（現実）	仕事、家庭や地域活動、個人の生活で何を優先しますか。（9択）	○	×	○	
	問18	男性が家事、育児、介護、地域活動などに参加するために必要なこと	男性が家事、育児、介護、地域活動に積極的に参加するためには何が重要だと思いますか。（9択、複数回答可）	○	○ （労働時間の短縮だけでなく、テレワーク等の多様な働き方の普及に関する選択肢あり）	×	
	問19	地域活動参加状況	地域活動に参加されていますか。（4択）	○	×	○	
	問19-1	参加している・参加したい地域活動	参加している地域活動は何ですか。（11択、複数回答可）	○	×	×	
	問19-2	参加できない・参加したくない理由	地域活動に参加できない、したくない理由は何ですか。（13択、複数回答可）	○	×	○	プランの「現状と課題」に使用
	問20	地域・育児等における男女共同参画の進展	男性の育児・介護への参画が以前より進んでいると思うか。また、地域活動が活性化していると思うか。（3項目、5択）	○	×	×	プランの「現状と課題」に使用
	問21	暴力だと思う事柄	平手で打つ、なぐる・蹴るなどを暴力だと思いますか。（12項目、3択）	○ （子どもに危害を加える等についての設問なし、11項目、3択）	×	○	プランの「現状と課題」「指標」に使用
	問22	配偶者等からの暴力の相談窓口の認知度、手段	DVについて、相談できる窓口があることを知っていますか。（2択）	○	×	○	問22-1に関連
	問22-1	配偶者等からの暴力の相談窓口の認知度	DVの相談窓口としてどのようなものを知っていますか。（8択、複数回答可）		○ （DVだけではなく女性に対する暴力等に関する相談窓口の認知度を問うている）	○	プランの「現状と課題」に使用
	問22-2	配偶者等からの暴力の相談窓口を知った手段	DVの相談窓口をどこで知りましたか。（7択、複数回答可）	○	×	×	

R元年度 調査項目				大阪府（H26）	国（R4）	東京都（R2）	参考
7 ドメスティック・バイオレンスについて	問23	交際相手からの暴力（デートDV）を受けた経験	10代、20代の時に交際相手からDVを受けたことがありますか。（5項目、3択）	○	×	×	
	問24	配偶者等からの暴力を受けた経験	これまで、配偶者等からDVを受けたことがありますか。（5項目、3択）	○	×	×	プランの「現状と課題」に使用
	問24-1	配偶者等の子どもに関する暴力（DV）の経験	これまで、配偶者等が、子どもへの危害や面前DVを行ったことがありますか。（3択）	×	×	×	
	問25	配偶者等からの暴力の相談の有無	DVについて誰かに相談しましたか。（13択、複数回答可）	○	×	×	プランの「現状と課題」「指標」に使用
	問26	配偶者等からの暴力を相談しなかった理由	相談しなかったのはなぜですか。（15択、複数回答可）	○	×	×	プランの「現状と課題」に使用
8 性暴力・性犯罪について	問27	性被害経験	望まないのに性的な行為をされたことがありますか。（2択）	○	×	×	プランの「現状と課題」に使用
	問27-1	性被害の相談の有無	誰かに相談しましたか。（11択、複数回答可）	○	×	×	プランの「現状と課題」に使用
	問27-2	性被害を相談しなかった理由	相談しなかったのはなぜですか。（15択、複数回答可）	○	×	×	
	問28	メディアにおける性・暴力表現	テレビ、新聞、インターネット等のメディアにおける性・暴力表現についてどう思いますか。（5項目、5択）	○	×	×	
	問29	DV、性暴力等をなくすために必要なこと	DV、セクハラ、性暴力等をなくすため、もっと取組みを進める必要があることは何ですか。（11択、複数回答可）	○	○	×	
9 男女共同参画に関する用語の周知度	問30	見聞きしたことがある言葉	男女共同参画社会、女子差別撤廃条約、DV法等について知っているものはありますか。（15項目、3択）	○ （女活推進法、候補者男女均等法、LGBTQ、SOGIの設問なし、11項目、3択）	×	×	ドーンセンター・男女共同参画社会・配偶者暴力相談支援センターの認知度をプランの「指標」に使用

R元年度 調査項目				大阪府（H26）	国（R4）	東京都（R2）	参考
10 男女共同参画社会の推進に向けて	問31	男女平等の実現にとって最も重要なこと	男女が平等になるために最も重要と思われるものは何ですか。（12択、2つまで）	○ （政治分野等の役職に一定割合女性を登用することの選択肢なし、11択）	×	×	
	問32	男女共同参画社会を推進するために行政がすべきこと	府や市町村が今後力を入れるべきことは何だと思いますか。（16択、複数回答可）	○ （選挙の候補者数を男女均等にするよう啓発することに関する選択肢なし、15項目）	○	○	
	問33	自由記載	本調査や男女共同参画社会の実現に向けた意見		×	×	

※「東京は女性が活躍できる都市」だと思うか問う設問あり。

【富山県（R3年度）】

新型コロナウイルス感染症拡大により、働き方や仕事内容に変化はあったか、あった場合の理由について問う設問あり。

【豊橋市（R3年度）】

新型コロナウイルス感染症拡大後の生活について、コロナ以前と比べ変化があったか（時間の変化・不安感）について問う設問あり。